

福生市町会長協議会 会報

ちいき

〈発行〉 福生市町会長協議会 会長 宇都 紀男



支えあ

- ・ 防犯・防災活動
- ・ 地域の見守り活動
- ・ 美化活動

町会・自治会は、隣近所の人たちとのふれあいを深め、話し合い、助け合いながら、より住みよい地域づくりを目指して活動している自主的に組織された団体です。

ご近所で 手を取りあって 助け合い

町会・自治会に加入しまじよう

現在、福生市内には34の町会・自治会があり、お互いに「支えあ」いながら、「にぎわい」「うるおい」をもたらす、さまざまな活動をしています。

にぎわ

- ・ 親睦・レクリエーション活動



うるお

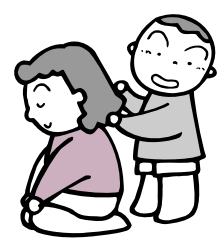
- ・ 地域の健康づくり
- ・ 他団体との協力活動



地域の町会・自治会にはどなたでも加入できます。地域の町会長・自治会長にご連絡ください。
※お住まいの地域の町会・自治会が分からない場合は、福生市協働推進課（電話551・1590）までお問合せください。

紹介します! 町会・自治会の活動

今回、紹介する町会・自治会活動は、「支えあい」と「にぎわい」としてしています。



支えあい
様々な世代での
コミュニケーションを
原ヶ谷戸町会 田中 守

町会・自治会の地域には、子供から高齢者までたくさんの方が暮らしています。地域は、多くの方の思いと努力によって、何年もかけて、つくられてきたものです。

市内の町会・自治会では、「より住みよい地域にしたい」、「子供たちや高齢者のために安全な環境をつくりたい」、「自分の住む地域をきれいにしたい」などの、地域住民の共通の思いをみんなで力を合わせながら、さまざまな活動を行っています。

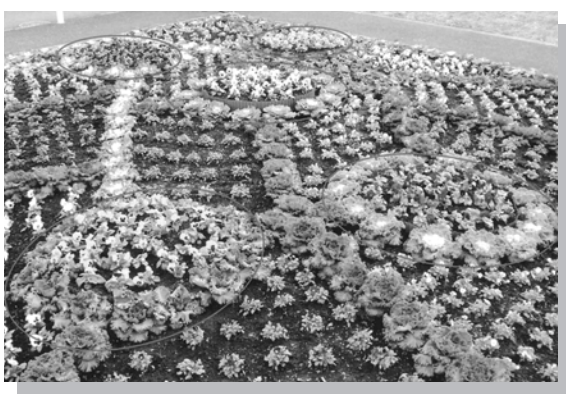
原ヶ谷戸町会は、福生市のほぼ中央に位置し、横田基地前国道16号と青梅線との中間に位置している町会です。町名の「原ヶ谷戸」とは、昔から地域名としてあつた原ヶ谷戸にできた町会、「原ヶ谷戸町会」となつたようです。

「原ヶ谷戸」とは、「水の出る所」との事で、市内にも「鍋ヶ谷戸」があり、近隣では国分寺に「殿ヶ谷戸」とか浦和市に「広ヶ谷戸」と呼ばれている地域があります。さて、私達の原ヶ谷戸町会の活動の中で子供からお年寄りの方が一緒に協力し行なっている事業を紹介いたします。

一つは、年9回行なっている町会主催の資源回収。以前は子供会・中学校PTAなどの各団体が行なっていた資源回収は、作業の人員確保、費やす時間、車両の手配等苦慮していましたが、町会主流とし前日の予告案内を子供会が行ない、当日の回収作業は青年部、回収品の分別は福寿会と子供会が主に行ない、売上金、市からの報奨金が各団体へ分配され活動資金にもなっております。

また年二回、春と秋に町会中央の交差点際にある花壇への植栽です。

この花壇への植栽は、平成22



花いっぱいコンテスト

年度「花いっぱいコンテスト」で春・秋とも最優秀賞をいただきました。この事業も、町会内の各団体が、腐葉土作りから植え付けまで、子供からお年寄りまで一緒に創りあげています。

一つ屋根の下で子供からお年寄りまでが生活を共にする家庭が少なくなっている今日、町会事業に参加し、違う年代の人とのコミュニケーションが自然と取れば何よりです。

どうか皆様も皆様方のお住まいの町会活動に参加してみてください。

支えあい
犯罪のない住みよいまちに
本町第八第一町内会
笹本 勇司

町内会防犯パトロールは、平成17年4月から毎月20日午後8時から午後9時まで行ない、福生警察生活安全課の指導により現在に至っております。

私たち会員は、夜間暗く狭い路地を中心に町会内を約1時間、拍子木を叩きながら、くまなく歩き市民が安心安全のために、毎回約15名ほどでパトロールを

行なっており、最近では行き会
う人達から「こんばんは、ご苦
労さん」の声が聞かれます。
毎回会館にてミーティングをし、
次回のパトロールに備えており
ます。昼間学童見守り活動は、
概ね月2回小学校下校時を目標
に老人会が中心となって活動を
行なっており、自動車に注意し
てね、と声を掛けると子供達か
らは「ハイ、ありがとう」と言
う大きな声が返って来ます。



防犯パトロール



桜まつり

私たちの町会は、睦橋に近い
町会です。昭和50年頃、土地改
良事業が終わり、区画分譲抽選
で移り住んだ世帯で現在500
世帯弱の町会です。
町会が設立して30年経過した
ところですが、そばを流れる多
摩川沿いに植えられた桜も見事
な花を咲かせるようになりました。
毎年、ふっさ桜まつりのメイ
ン会場である明神下公園で、期
間中に模擬店を出店します。町

にぎわい
ふっさ桜まつり
南田園二丁目町会
持田 洗



内にある様々な趣味をもった団
体のメンバー「田園睦会」(みこ
しの会)、「ゴルフ会」、「山の会」、
「釣りの会」、「るりの会」(こ
婦人の会)、「福寿会」や、ボラ
ンティアによって運営されます。
昨年も参加者が多く、役割分
担に苦慮するほどでした。これ
は町会の事業とともに、地域の
親睦とコミュニケーションの和
を醸成できる良い企画と思っ
ています。
今年の第28回ふっさ桜まつりは、
東北関東大震災の影響により中
止となりましたが、これからも
多くの方に参加していただき、
地域のコミュニケーションの輪
を広げていきたいと考えています。

広告掲載スペース

地域で、顔見知りの
輪を広げ、いざという
時に助け合うことので
きるまちづくりのため、
町会・自治会の活動に
ぜひ参加しましょう。

西多摩地区自治会・町内会連合会会長会

定例研修会レポート

2月24日（木）に、西多摩地区自治会・町内会連合会会長会定例研修会「お知恵拝借！町内会・自治会困りごと解決作戦」が行われました。

西多摩地区8市町村から、36名の町会・自治会長が集まり、福生市町会長協議会からも、4名の町会長が参加しました。

研修では、まず講師からある地域の町会・自治会で行なったアンケート結果をもとに、「町会によって地域を取り巻く状況が様々で一般論というものが無いが、地域の課題を解決していくために、

地域コミュニティの核である町会・自治会が、大きな役割を担っており、防犯活動や防災活動はもちろんのこと、高齢者支援や子育て支援など多岐に渡る活動が期待されている」というお話があり、町会を中心に様々な団体が連携して地域をマネジメントしていく仕組みなどの具体的な例が紹介されました。

続いて、参加者がグループに分かれて、「お知恵拝借！町内会・自治会困りごと解決作戦」をテーマに討論会を行ない、それぞれの町会・自治会から、困りごとを挙げ、解決に向けたアドバイスを出し合いました。

各グループから挙げられた困りごとは、「加入率の低下」や、「行事へ参加する人が固定化してきている」、「役員のなり手がいない」など、共通している課題が多く、単身世帯への働きかけや子供が楽しめる事業を増やすなどのアイデアが提案されました。

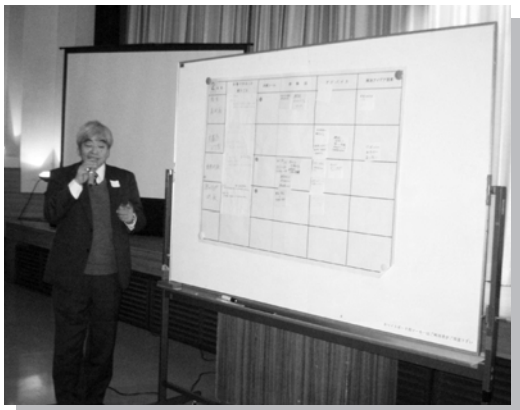
講師 伊藤 雅春 氏

(愛知学泉大学

コミュニティ政策学部教授)

まちづくりワークショップ歴20年の経験を生かしたまちづくり活動の支援など、活動は多岐にわたる。

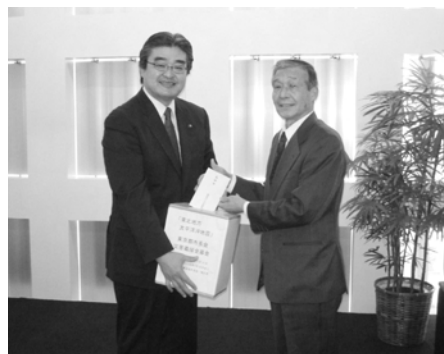
講師からも、町会員の得意分野を生かして、役員の担当を決めている自治会を例に挙げ、町会・自治会の活動を活性化していくためのヒントを得ることができました。



東北地方太平洋沖地震 義援金を福生市に

東北関東大震災で亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りするとともに、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

この度、福生市町会長協議会では、東北関東大震災の被災者被災地域の支援協力として、災害義援金を寄付しました。



義援金を福生市長に手渡す
宇都協議会会長

平成23年3月
編集委員長

- 井上 正和
- 竹田 良昭
- 中村 光昭
- 佐藤 弘治
- 西 敏彦